「名詞修飾構文の対照研究」第 2 回研究発表会
2016 年 11 月 19 日、名古屋大学

# 日本語から見た名詞修飾構文

益岡隆志（関西外国語大学）

## はじめに

名詞に関わる日本語文法の研究（cf. 福田・建石編（2016））
◇名詞（名詞句）の指示
◇名詞文（コピュラ文）
◇名詞の文法的類別
◇名詞修飾構文

名詞修飾構文
日本語では名詞修飾構文は重要課題の 1 つとして長い研究史を誇る
寺村（1975−78、1980）の研究
後の研究に影響を与える画期的研究

本発表
叙述が関わる名詞修飾節構文を対象とする
寺村の研究を軸にこれまでの研究を振り返り、今後検討すべき課題を探る

## Part Ⅰ　研究史素描

寺村の研究をもとに日本語名詞修飾構文に関わる諸問題を整理する

### Ⅰ．1　寺村の研究

時代を画する研究
A：対照研究の観点（英語との対照）
「関係節」や「同格節」の替わりに「内の関係」・「外の関係」と捉える
B：形（構造）と意味の考察（「シンタクスと意味」）を基本とする文法研究だが、運用論的・談話テクスト論的研究の萌芽も認められる
C：収集した多くの実例の観察のうえに立った実証的研究であり、現代のコーパス言語学に通じるところもある

特に以下の 3 点に注目したい
①「内の関係」・「外の関係」という種分け
② 外の関係→主名詞の機能語化

③ 内の関係→非限定的修飾の多用（cf.寺村（1983））

*特に①③は対照研究の視座が効いている

Ⅰ．2　寺村以後の展開

① 内・外の関係における関係的意味（修飾部と主名詞の関係）の分析

Matsumoto（1997）・松本（2014）、加藤（2003）、堀江＆パルデシ（2009）・堀江（2015）、益岡（2009、2010）　cf. Comrie（2010）

（１）a　サンマを焼く男

b　サンマを焼く匂い

（２）　いま振り返ってみると、どうも違うように思う。嵯峨に育った田舎者の復讐心。（井上章一「関西人の正体」）

言語的文脈・言語外知識への注目

対照言語学・言語類型論研究への展開

松本（2014）、堀江＆パルデシ（2009）・堀江（2015）、Comrie（2010）

② 主名詞の文法化

◇連用接続形式化

主節に対する関係（連用関係）

（３）　外へ出ると寒いし、どこもいっぱいだから、と配慮して席を取っておいてくれたおかげで、大阪でも「お早いお着き」の後ゆっくり休めた。（曽野綾子「現し世の深い音」）

◇文末形式化

人魚構文（角田（2011））

（４）　外では雨が降っている模様だ。

③ 非限定的修飾の多用

寺村（1983）：情報付加（「当の特定の対象についてのある情報を付け加える」）

（５）　誰からもほんとうに愛されていないという信念を持てない健作は、わずかな記憶をたどって、やはり亡き母を慕っていた。

機能論的観点

非限定的修飾はどのような働きをするか？

益岡（1995）、堀江＆パルデシ（2009）

PartⅡ　考察―「構文環境」の観点から

上記①～③

①&②：構文における形（構造）と意味の関係

③：構文の機能

以下では、③を対象に「構文環境」（構文出現環境）の観点から考察を試みる

Ｑ：非限定的名詞修飾構文は所与の環境のなかでどのような働きをするか？

Ⅱ．1　構文環境

非限定的名詞修飾構文の出現環境

構文が関与する領域

◇文の環境（文（複文）を関与領域とする）

非限定的名詞修飾構文の機能

主節に対する関連情報の提示：名詞修飾部と主節の関係

◇文を超える談話・テクスト環境（談話・テクストを関与領域とする）

非限定的名詞修飾構文の機能

主名詞についての関連情報の提示

観察の留意点

非限定的名詞修飾構文の文内位置

◇述語の位置

◇補足語の位置

◇主題・状況語の位置

Ⅱ．2　非限定的名詞修飾構文の機能

益岡（1995）

主節の事態に対する情報付加

（６）　<u>控え室に戻った</u>私は、9 分間、時間を過ぎたことを、係の人にわびた。（北杜夫「マンボウ酔族館」）

主名詞に対する情報付加：「名詞の文脈への導入を円滑に行う」

（７）　<u>コカイン密輸事件で逮捕、送検された</u>角川書店社長の角川春樹容疑者は、父親の源義氏ともども異色の俳人として名が通っている。（神戸新聞 1993 年 8 月 31 日）

◇文の環境（文（複文）を関与領域とする）

主節に対する関連情報の提示：名詞修飾部と主節の関係

【述語の位置】

（８）　いかに仮説を立てて論を進めることに味をしめたアインシュタインとはいえ、あくまでも科学者である。（「アインシュタイン・ロマン」）

（９）　欧米に四年余り住み、そのほとんどの国に行ったことのある私だが、スリ、置引、強盗などの犯罪に出会ったことは一度もない。（藤原正彦「グローバル化の憂愁」）

（10）　言葉の精髄を凝縮したといわれる詩歌だけに、西洋語への翻訳は困難を極め、. . . その真価は、別の言語ではなかなか伝わらないと思わざるをえない。（川村湊「村上春樹はノーベル賞をとれるのか？」）

【補足語の位置】

（11）　お忙しいあなたにこんなことをお願いするのは申しわけないんですが. . .（寺村（1980））

（12）　尾道では、半年も、時には一年も待たなければならない、ハリウッドやヨーロッパ製の新作映画が、すぐにでも見られる。（大林宣彦「ぼくの青春映画物語」）

（13）　徹吉はなにがなし自分と縁があるような気がするこのヒットラーに、関心と親しみの念を抱いた。（北杜夫「楡家の人々」）

【主題・状況語の位置】

（14）　スタート時、最近の高校生を教えるのは難しいのでは、と不安だったという染丸師匠は、. . . 今やノビノビ授業に取り組んでいる。（神戸新聞 1993 年 6 月 14 日）

（15）　はじめは、そんなことして家族を飢死させたらどうなるのといって受けつけなかった母も、東京支社へ転勤という話を聞いて、やっと承知してくれた。（庄野潤三「文学交友録」）

（16）　イタリアで十四世紀頃から始まったルネッサンスは、十五世紀、十六世紀になると全ヨーロッパ的な広がりを見せ、ガリレイ、ケプラー、ニュートンといった素晴らしい科学者が登場してくる。（広中平祐「生きること 学ぶこと」）

（17）　近年には、村上春樹の受賞が有力との情報を得たある新聞記者は、本人へのインタビューをとるために、その時に彼が滞在していたハワイ行きの飛行機を予約し、受賞情報が入ったらすぐに飛び立とうとスタンバイしていたが、受賞ならずの報告が入り、チケットをドタキャンしたという。（川村湊「村上春樹はノーベル賞をとれるのか？」）

（18）　女性教官こそ双手を挙げて賛成してくれると思っていた私は、呆気にとられ、虚脱して、声も出なかった。（藤原正彦「グローバル化の憂愁」）

◇談話・テクスト環境（談話・テクストを関与領域とする）
主名詞についての関連情報の提示（*ただし、「N ダ」構文は別）

【述語の位置】⇒名詞述語文
構文型：基本構文の「N ハ N ダ」構文と有標構文の「N ダ」構文
◇「N ハ N ダ」構文
（19）　私、東京から来ました中川亜矢子と申します。（山村美紗「愛の飛鳥路殺人事件」）
（20）　さきほど予約の電話をした荒木です。（「舟を編む」）
（21）　日本館のなかに一人、友だちを得た。コンセルバトワールに通っている作曲家の矢代秋雄氏である。（遠藤周作「帰国まで」）

◇「N ダ」構文：単文構文
（22）　浜辺に泣き伏すお宮であった。（三上（1970）:「陰題」）
（お宮は、浜辺に泣き伏すのであった）

レトリックとして慣習化された構文
◇テクストの冒頭
（23）　もう私にとっては自分の故郷のようになった長崎である。（遠藤周作「切支丹の里」）

◇テクストの末尾
（24）　あなたの暮らし出版をやめてしまっても新しい小麦粉料理のことを考えてしまう花山でした。（NHK 朝ドラ「とと姉ちゃん」2016 年 8 月 1 日）

【補足語の位置】
（25）　日本有数の天然林が広がる京都府南丹市の「芦生の森」が危機に瀕している。（朝日新聞 2016 年 9 月 26 日夕刊）
（26）　中京区の新京極商店街が主催する「京まちなか映画祭」が 17 日から始まる。（朝日新聞 2016 年 9 月 14 日）
（27）　5 年前の紀伊半島大水害で大規模な土石流が起きた和歌山県那智勝浦町の現場を巡る「防災ジオツアー」を、和歌山大学の研究者らが定着させようと奮闘している。自然の脅威と恩恵を楽しみながら学んで教訓を伝え、悲劇を繰り返さないようにする取り組みだ。（朝日新聞 2016 年 9 月 5 日夕刊）
（28）　先日、スコットランドの大学にいる息子から電話があった。（藤原正彦「グローバル化の憂愁」）

【主題・状況語の位置】

（7）　コカイン密輸事件で逮捕、送検された角川書店社長の角川春樹容疑者は、父親の源義氏ともども異色の俳人として名が通っている。(神戸新聞 1993 年 8 月 31 日)

(29)　米コロラド州を訪問している阿部守一知事は 22 日、県短大（長野市）を四年制化して 2018 年に開学する長野県立大を巡り、. . . 企業家養成を県立大教育の柱に据える意向を表明した。(信濃毎日新聞 2016 年 8 月 24 日)

(30)　紀元 71 年にローマ人によって建てられたこの都市は、中世には羊毛の取引で栄えた。(「地球の歩き方 ヨーロッパ」)

(31)　現在においても神事や講が盛んに行なわれている小浜では、地域固有の料理が多数継承されています。(「若狭おばま食文化館」展示物説明文)

Ⅱ．3　主名詞の主題性

名詞修飾構文内における主名詞の主題性

寺村（1983）: 情報付加（「当の特定の対象についてのある情報を付け加える」）

Kuno（1973）: “what is relativized is not an ordinary noun phrase, but the theme (NP-*wa*) of the relative clause”（p. 254）

益岡（1995）:「主名詞が連体節に対して主題の性格を持ち得るのは、情報付加型の非限定的連体節表現の場合に限られる」（p. 151）

<u>構文の内部と外部の両面を考えることが必要</u>

◇構文の内部

非限定的名詞修飾構文は限定的名詞修飾構文と同じく主名詞を主要部とする内心構造ではあるが、修飾部の意味的独立性が高く、主題構造の変異型をなす。通常の主題構造においては解説部分（叙述部分）は新情報となるが、非限定的名詞修飾構文における解説部分（叙述部分）は背景情報にとどまる（*ただし、「N ダ」構文の場合は別)。

◇構文の外部

構文環境における主名詞の主題性

主題のタイプ

◇文の主題 :「ハ」で代表される主題標識を取る

◇談話・テクストの主題（cf. 益岡（2004)、砂川（2005))

構文が関与する領域と主名詞の主題性

◇文の環境（文を関与領域とする）

文の主題（談話・テクストの主題を兼ねることもある）

*ただし、補足語位置の場合は別

◇談話・テクスト環境（談話・テクストを関与領域とする）

談話・テクストの主題または関連主題（文の主題を兼ねることもある）

*ただし、「N ハ N ダ」構文の場合は別

談話・テクスト主題と関連主題（cf. 益岡（2004））

（32）　ボブ・ディランさん受賞に喜び

曲を通じ、米国が抱える社会問題に触れてきたディラン。30 年来のファンで、米国史の授業でディランを取り上げることがある名古屋市立大准教授の平田雅己さん（47）は「米国の変化を彼なりの表現で伝え、心に響く歌詞をつくり続けた。米国の商業主義から外れて、アーティスト主義を貫いた部分が評価されたのでは」とみる。（中略）

「びっくりです」。神戸・元町で「Bar DYLAN」を営む山内貴彦さん（42）は受賞に驚きの声を上げた。高校生の時、ディランを追ったドキュメンタリー映画をテレビでみて、雷に打たれたような衝撃を受けた。一方で、こうも推測する。「本人は受賞を喜んでいないかも。『自分はミュージシャンであって、文学者ではない』と」（朝日新聞 2016 年 10 月 14 日）

## おわりに

対照研究と日本語

日本語を基盤とする対照研究の可能性

名詞修飾構文はその好例

e.g. 内・外の関係における関係的意味、人魚構文、非限定的名詞修飾構文の機能

構文の研究：形（構造）と意味に加え機能に着目

出現環境における名詞修飾構文の機能

名詞修飾構文と主題研究の接点

┌構文内での主名詞の主題性⇒日本語の主題卓越性

└構文環境での主名詞の主題性⇒談話・テクスト分析

【参考文献】

大島資生（2010）『日本語連体修飾節構造の研究』ひつじ書房.

加藤重広（2003）『日本語修飾構造の語用論的研究』ひつじ書房.

砂川有里子（2005）『文法と談話の接点―日本語の談話における主題展開機能の研究』くろしお出版.

角田太作（2011）「人魚構文―日本語学から一般言語学への貢献」『国立国語研究所論集』1 号.

寺村秀夫（1975-78）「連体修飾のシンタクスと意味―その 1 ～その 4」『日本語日本文化』大阪外国語大学研究留学生別科.

寺村秀夫（1980）「名詞修飾部の比較」『日英比較講座第 2 巻：文法』大修館書店.

寺村秀夫（1983）「「付帯状況」表現の成立の条件」『日本語学』2 巻 10 号.

西山佑司（2003）『日本語名詞句の意味論と語用論―指示的名詞句と非指示的名詞句』ひつじ書房.

福田嘉一郎・建石始編（2016）『名詞類の文法』くろしお出版.

堀江薫＆プラシャント・パルデシ（2009）『言語のタイポロジー』研究社.

堀江薫（2015）「日本語の「非終止形述語」文末形式のタイポロジー―多元との比較を通じて」益岡隆志編『日本語研究とその可能性』開拓社.

前田直子・大島資生（2014）「連用修飾節・連体修飾節構造に関する研究の動向と課題」益岡隆志他編『日本語複文構文の研究』ひつじ書房.

益岡隆志（1995）「連体節の表現と主名詞の主題性」益岡隆志・野田尚史・沼田善子編『日本語の主題と取り立て』くろしお出版.

益岡隆志（2004）「日本語の主題―叙述の類型の観点から」益岡隆志編『主題の対照』くろしお出版.

益岡隆志（2009）「連体節表現の構文と意味」『月刊言語』38 巻 1 号.

益岡隆志（2010）「連体節構文における関係的意味」*KLS* 30、関西言語学会.

益岡隆志（2013）『日本語構文意味論』くろしお出版.

松本善子（2014）「日本語の名詞修飾節構文」益岡隆志他編『日本語複文構文の研究』ひつじ書房.

三上章（1963）『日本語の構文』くろしお出版.

三上章（1970）『文法小論集』くろしお出版.

Comrie, Bernard（2010）“Japanese and the other languages of the world.” *NINJAL Project Review* 1.

Hoffmann, Thomas and Graeme Trousdale（eds.）（2013）*The Oxford Handbook of Construction Grammar*. Oxford: Oxford University Press.

Kuno, Susumu（1973）*The Structure of the Japanese Language*. Cambridge, Mass.: MIT Press.

Matsumoto, Yoshiko（1997）*Noun-Modifying Constructions in Japanese*. Amsterdam: John Benjamins.